

奈良市議会議員

もり た かず なり

森田 一成

奈良市議会活動報告



京奈和自動車

奈良市の工事着手を要望

奈良市のインフラ整備に使われる国の予算獲得のため、私が所属している会派「自民党」は毎年、県選出の国会議員を訪ね、国土交通省と財務省に市の現状を説明し、国の「社会資本整備総合交付金」の増額を求めています。

今年度も小林茂樹衆院議員、堀井巖、佐藤啓の両参院議員と共に予算要望を行い、国に理解を求めました。特に、整備が進められている京奈和自動車道は現在、大和郡山市で工事=写真参照=が進められていますが、奈良市内での工事進捗はこれと比較すると遅く、私は「同時進行の工事を」と求めました。



新年度予算に拡幅工事費計上

都跡中学校の生徒らの通学路になっている四条大路2丁目の観音庵千住院の交差点=写真=は、歩道が狭く、地域の皆様から拡幅の要望をいただいていた。

市に要望し、拡幅の事業化が実現し、新年度から新たな工事が始まる予定になっています。



奈良市は、市内に24カ所ある公民館を「基幹型」と呼ばれる6館のみを残して廃止し、ふれあい会館にその機能を移転しようとする唐突

な計画を打ち出しました。さらに市は、障害のある方々の相談や訓練、リハビリの施設として利用している総合福祉センター=写真=

を今年度末で閉鎖し、市内に4つある老人福祉センターに分散する計画も浮上しました。これも唐突にセンターに通知し、混乱を招きました。

この結果、仲川元庸市長はすべての計画を白紙に戻すことを表明されました。しかし今後、市は各地域にある公共施設の統廃合を加速させる懸念もあります。私は経験の長い市議として、これらの動向を注視し、市民生活、市民サービスが低下しないよう努めてまいります。

取りやめ求め、計画の廃止実現

奈良市議会の森田一成は今年度の市議会活動の中で、仲川元庸市長が進めようとした市内の公民館を廃止する計画や、障害のある方々が利用する総合福祉センターを廃止しようとする「市」に対して「市民生活の低下を招く施策だ」と指摘、会派を越えた呼びかけを行い計画の廃止を実現しました。今後も「切り捨て」と言える市の施策を注視していきます。また地元で計画されているクリーンセンターや予算陳情など、私の活動を「報告」します。

市が公民館機能移転や総合福祉センター閉鎖方針 公共施設の「切り捨て」に警鐘

市は老朽化した公共施設を、将来的な人口減少を見据えて統廃合していく計画を持っていきますが、市民や議会と議論することなく、安易な切り捨ての市政運営を認めることはできません。私は市に対し、統廃合する決定プロセスがない「市長の思い付き」が露見されることを指摘し、会派を越えてこれらの計画を取りやめるよう求めまし



- 所属団体 役職
- 都跡地区子供会顧問
 - 三条・四条大路2・3丁目子供会幹事
 - 北大和高等学校同窓会会長
 - 奈良西ライオンズクラブ会員
 - 奈良市ウエイトリフティング協会副会長

- 少林寺拳法奈良中央道院顧問
- 国際空手道連盟極真会館 奈良支部相談役
- 奈良商工会議所青年部朋友会会員
- 奈良市ラグビーフットボール協会副会長

<http://moritakazunari.com>

